

## Si-R G211 V20.53 変更内容一覧

### □機能追加・改善

No.	項目	内容
1	電波強度判定の閾値と判定信号を変更	電波強度判定の閾値と判定信号を変更する。

### □修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.00～V20.52 ・show wwan status csvコマンド実行時 ・show trace signalコマンド実行時	show wwan status csvコマンド、または、show trace signalコマンド実行時にSINR値が正しく表示されない。
2	V20.00～V20.52 電波状態表示ランプ利用時	ランプを電波状態表示モードにした場合、接続した通信モードに関わらず、内蔵通信モジュールの電波状態が誤って判定され電波状態表示のランプが誤って表示される場合がある。
3	V20.51～V20.52 IPsec(IPv6接続)機能利用時	IPsec(IPv6接続)の設定時にtunnel local/tunnel remoteにFQDNアドレスを指定するとIPsec接続不可になってしまう。
4	V20.00～V20.52 内蔵通信モジュールで接続エラーが発生して切断された直後、または、usbctl restart wwanコマンド実行直後の右記コマンド実行時	内蔵通信モジュールで接続エラーが発生して切断された直後、または、usbctl restart wwanコマンド実行直後に下記コマンドを実行するとコマンド応答がない場合がある。 show pseudo-ether statistics offline pseudo-ether online pseudo-ether offline wwan signal online wwan signal show wwan faultstat
5	V20.00～V20.52 内蔵通信モジュール利用時	内蔵通信モジュールを使用する設定を行い、かつ、SIMカードを実装した状態で、稀に[d40000001]のエラーログを出力し再起動する場合がある。(なお、装置再起動を行う場合に、発生した事例あり)
6	V20.00～V20.52 WEB画面利用時	Web管理インタフェースにおける脆弱性対応
7	V20.00～V20.52 resetコマンド実行時	定期ログ機能を有効(defaultは有効)に設定、または、snmp機能を有効(defaultは無効)に設定して、装置起動直後、または、定期ログ採取周期(default 3h)と同じタイミングでresetコマンドを実行すると、極稀に装置がハングアップ状態になり、約15分後に、エラーコード[d4000063]が記録されて再起動する場合がある。